

A 案 ひたすら名刺配り

- ① 企画名（仮称）：新発田市の若手をつながる名刺交換会
- ② 目的（Why）：
 - ・新発田市の若手に存在するつながりの希薄さを解消する。
 - ・青年会議所で一緒に活動したい人材を発掘する。
- ③ 想定参加人数・属性（Who）：50 人
- ④ 開催形式（How）：名刺交換
- ⑤ 開催日時・場所（When / Where）：5 月・アクティブ交流センター
- ⑥ 具体的な内容・タイムスケジュール（What）：

開会あいさつ⇒趣旨説明⇒1 分ごとに回転式？で 1 対 1 で名刺交換会⇒自由時間（話し足りない人と自由に話す）
- ⑦ 参加メリット（参加者視点）：
 - <会社>・未開拓業種との交流 ・つながりたい会社と交流
 - <個人>・同じ地域の同年代人材とつながることができる。
 - ・若手のつながりの希薄さの解消
- ⑧ 運営体制・役割分担（Who does）：

主催：新発田青年会議所

当日の最低限の運営人数：4~5 人（受付、司会、撮影、補助×2 名）
- ⑨ 予算・収支（How much）：

支出：50,000 円（会場費 15,000 円 広告費 30,000 円 参加者飲物 100 円×50 人）

収入：50,000 円（参加費 1,000 円×50 人）
- ⑩ リスク・懸念点と対応策：
 - ・名刺交換だけではおもしろくない、つながりの希薄の解消につながらない

⇒事前アンケートで「つながりたい業種」や「参加目的」を聴いておき、合いそうな人を積極的につなげる
- ⑪ 成果測定・次につなげる仕組み：
 - ・会の中で前のめりな人がいた場合、次回オブザーバーとして本会の運営に関わってもらう

B 案 立食パーティ形式名刺配り

① 企画名（仮称）：新発田市若手交流ナイト（立食パーティ形式名刺交換会）

② 目的（Why）：

- ・堅苦しさをなくし、自然な会話から若手同士のつながりを生む
- ・交流を通じて青年会議所に関心を持つ人材を発掘する

③ 想定参加人数・属性（Who）：50人

（新発田市内企業の若手社員、若手経営者、公務員など）

④ 開催形式（How）：立食パーティ形式（軽食・ドリンクあり）＋自由名刺交換

⑤ 開催日時・場所（When / Where）：5月・アクティブ交流センター

⑥ 具体的な内容・タイムスケジュール（What）：

開会あいさつ⇒趣旨説明⇒立食形式で自由交流（名刺交換）⇒途中で簡単なアイスブレイク企画（1分自己紹介など）⇒フリー交流⇒閉会

⑦ 参加メリット（参加者視点）：

<会社>

- ・業界を超えた横のつながりづくり
- ・新発田市内の若手人材ネットワーク形成

<個人>

- ・リラックスした雰囲気での交流できる
- ・仕事以外のつながりができる

⑧ 運営体制・役割分担（Who does）：

主催：新発田青年会議所

当日の最低限の運営人数：5～6人（受付、司会、飲食管理、撮影、交流促進役）

⑨ 予算・収支（How much）：

支出：100,000円

（会場費 15,000円、飲食費 70,000円、広告費 15,000円）

収入：100,000円

（参加費 2,000円×50人）

⑩ リスク・懸念点と対応策：

- ・特定のグループで固まってしまう

⇒途中で席替え・交流促進アナウンスを行う

⑪ 成果測定・次につなげる仕組み：

- ・アンケートで「次回も参加したい」「JC活動に興味あり」を把握
- ・関心者に後日オリエンテーション案内

C 案 勉強会＋名刺交換会

- ① 企画名（仮称）：学びから始まる若手交流会 in 新発田
- ② 目的（Why）：
 - ・若手の自己成長意欲に応える場を提供する
 - ・学びを通じて、価値観の近い人材とつながりをつくる
- ③ 想定参加人数・属性（Who）：40～50人（成長意欲のある若手社員、若手経営者）
- ④ 開催形式（How）：ミニ勉強会（60分）＋名刺交換会
- ⑤ 開催日時・場所（When / Where）：5月・アクティブ交流センター
- ⑥ 具体的な内容・タイムスケジュール（What）：
開会あいさつ⇒勉強会（テーマ：仕事力・地域・キャリアなど）⇒講師を交えた質疑
⇒名刺交換・交流タイム⇒閉会
- ⑦ 参加メリット（参加者視点）：
 - <会社>
 - ・意欲の高い若手人材との接点
 - ・人材育成の一環として参加可能
 - <個人>
 - ・すぐに仕事に活かせる学び
 - ・志向の近い仲間と出会える
- ⑧ 運営体制・役割分担（Who does）：
主催：新発田青年会議所
当日の最低限の運営人数：4～5人
（受付、司会、講師対応、撮影、交流補助）
- ⑨ 予算・収支（How much）：
支出：70,000円
（会場費 15,000円、講師謝礼 30,000円、広告費 25,000円）
収入：75,000円
（参加費 1,500円×50人）
- ⑩ リスク・懸念点と対応策：
 - ・勉強会で終わってしまい交流が薄くなる⇒名刺交換の時間を十分確保し、運営が積極的につなぐ
- ⑪ 成果測定・次につなげる仕組み：
 - ・アンケートでテーマ満足度・交流満足度を測定
 - ・次回勉強会・JC事業への参加誘導

D 案 ギネス記録を破る名刺交換会（けん玉）

- ① 企画名（仮称）：新発田市若手ギネス挑戦名刺交換会
～紅白に負けない、けん玉連続記録への挑戦～
- ② 目的（Why）：
 - ・何かを一緒にやる、やり遂げることによる関係性の構築
 - ・話題性のある企画で参加ハードルを下げる（ギネスは130人のため、130人集めなきやみみたいな誘い文句にもなる）
 - ・一体感を生み、強いつながりを形成する
- ③ 想定参加人数・属性（Who）：50～60人（若手社員・経営者）※ギネスは130人
- ④ 開催形式（How）：全員参加型チャレンジ企画＋名刺交換
- ⑤ 開催日時・場所（When / Where）：5月・アクティブ交流センター
- ⑥ 具体的な内容・タイムスケジュール（What）：
開会あいさつ⇒趣旨説明・ルール説明⇒けん玉練習⇒ギネス記録挑戦⇒成功・失敗に関わらず名刺交換会⇒閉会
- ⑦ 参加メリット（参加者視点）：
 - <会社>
 - ・企業名が話題企画に紐づく
 - ・社外でのチーム体験
 - <個人>
 - ・初対面でも一気に打ち解けられる
 - ・記憶に残る交流体験
- ⑧ 運営体制・役割分担（Who does）：
主催：新発田青年会議所
当日の最低限の運営人数：6～7人（司会、ルール管理、記録、撮影、誘導）
- ⑨ 予算・収支（How much）：
支出：75,000円
（会場費15,000円、けん玉備品10,000円、広告費45,000円、飲み物5,000円）
収入：75,000円
（参加費1,500円×50人）
- ⑩ リスク・懸念点と対応策：
 - ・失敗して盛り下がる可能性⇒「挑戦すること自体に価値がある」演出・表彰を用意
- ⑫ 成果測定・次につなげる仕組み：
 - ・SNS発信で話題化・盛り上がった参加者を次回企画メンバーに誘う
 - ・ギネス作るまでやめられま10にしてしまうとか

E案 マリオカートしながら名刺交換会

① 企画名（仮称）：

ゲームでつながる！マリオカート名刺交換会

② 目的（Why）：

- ・若手が参加しやすいカジュアルな交流の場をつくる
- ・従来型交流会に参加しない層を掘り起こす

③ 想定参加人数・属性（Who）：

40～50人（20～30代中心、ゲームに抵抗のない層）

④ 開催形式（How）：マリオカート対戦＋名刺交換

⑤ 開催日時・場所（When / Where）：5月・アクティブ交流センター

⑥ 具体的な内容・タイムスケジュール（What）：

開会あいさつ⇒ルール説明⇒マリオカート対戦（ランダムチーム）⇒対戦後に名刺交換
⇒フリー交流⇒閉会

⑦ 参加メリット（参加者視点）：

<会社>

- ・若手社員の参加意欲向上
- ・柔らかい企業イメージづくり

<個人>

- ・緊張せず自然に会話が生まれる
- ・遊びを通じたつながり形成

⑧ 運営体制・役割分担（Who does）：

主催：新発田青年会議所

当日の最低限の運営人数：5～6人（機材管理、司会、受付、撮影、進行補助）

⑨ 予算・収支（How much）：

支出：75,000円

（会場費 15,000円、機材レンタル 20,000円、広告費 40,000円）

収入：75,000円

（参加費 1,500円×50人）

⑩ リスク・懸念点と対応策：

- ・ゲームが苦手な人が疎外感を感じる⇒観戦参加・応援役も評価する仕組みを導入

⑪ 成果測定・次につなげる仕組み：

- ・満足度アンケート
- ・参加者コミュニティ（LINE等）への誘導

イベント企画 比較評価表

企画案	集客力	JC人材発掘 向き	運営負荷	話題性	総合コメント
A案 ひたすら名 刺配り	★★☆☆☆	★★★★☆	★★★★★	★☆☆☆☆	堅実だが集 客力は弱い
B案 立食パーテ ィ形式	★★★★☆	★★★★☆	★★★★☆☆	★☆☆☆☆	無難で初開 催向き
C案 勉強会＋名 刺交換	★★★★☆	★★★★★	★★★★☆☆	★☆☆☆☆	人材発掘に 最適
D案 ギネス挑戦 名刺交換	★★★★★	★★★★☆	★★☆☆☆☆	★★★★★	話題性・拡 散力が高い
E案 マリオカー ト名刺交換	★★★★☆	★★☆☆☆☆	★★☆☆☆☆	★★★★☆	若者向けで カジュアル